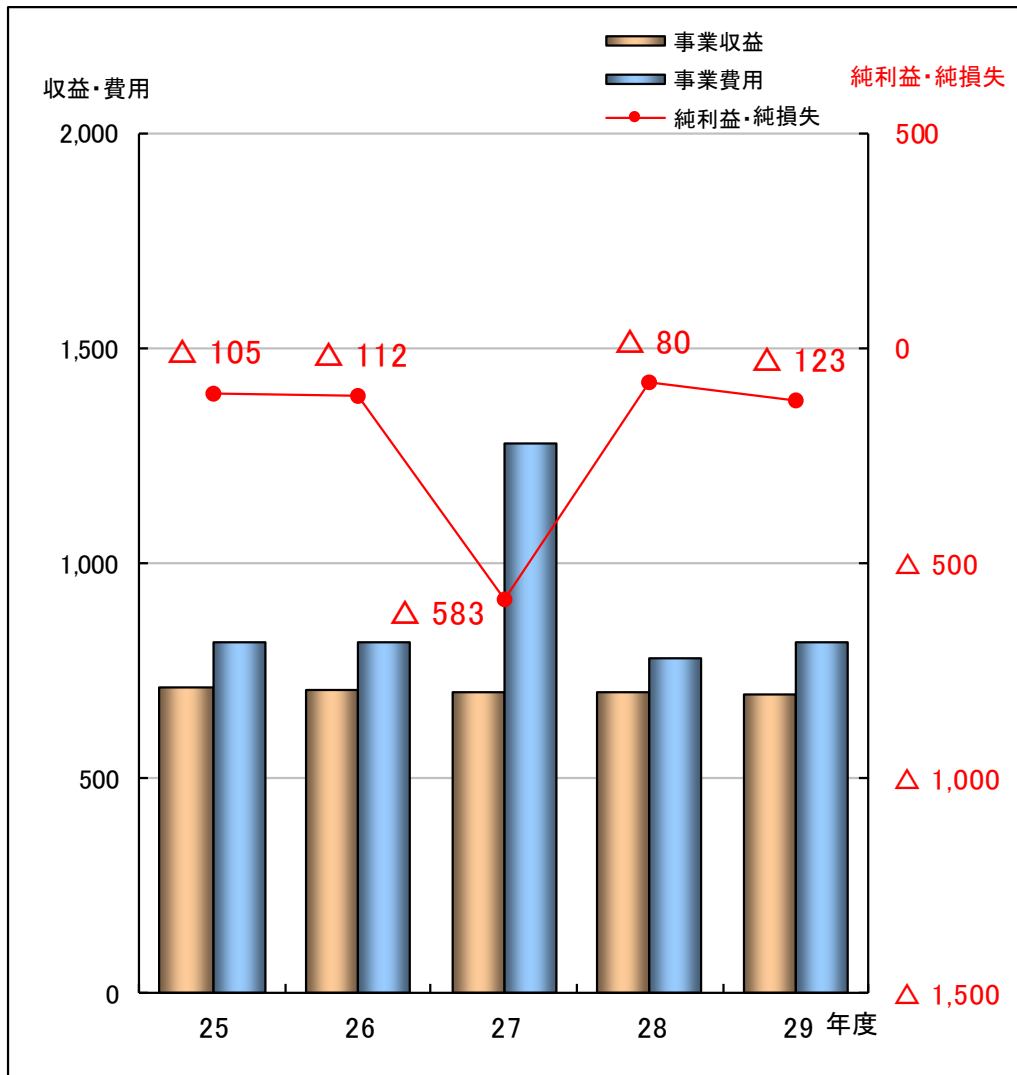


平成 29 年度 病院事業会計決算概要

1 市民病院

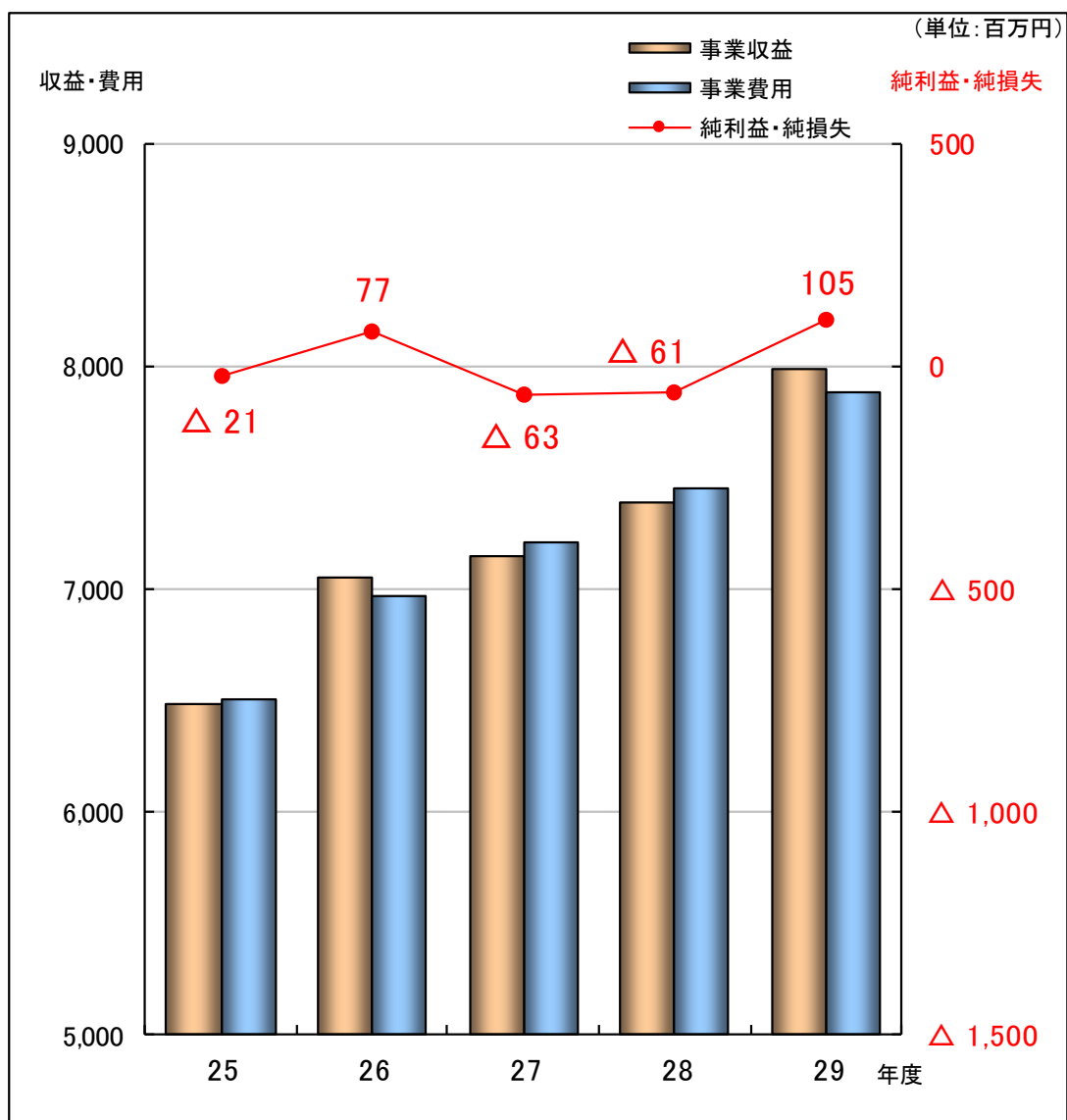
(1) 収益・費用・利益の推移 (市会計)

(単位:百万円)



- 市民病院は、指定管理者から指定管理負担金を収入していないため、1億円程度の赤字で推移しています。(平成 27 年度は、旧職員宿舎が遊休資産となったことに伴い、減損損失を約 4 億 4,200 万円計上した影響により純損失が大きくなっています。)
- 市民病院の経営改善は、指定管理者制度にしたことで相当進みましたが、現時点では、指定管理者から指定管理者負担金を収入できる状況にはありません。本市の病院事業会計を収支均衡にすることが最終目標であり、経営改善の道半ばという状況です。

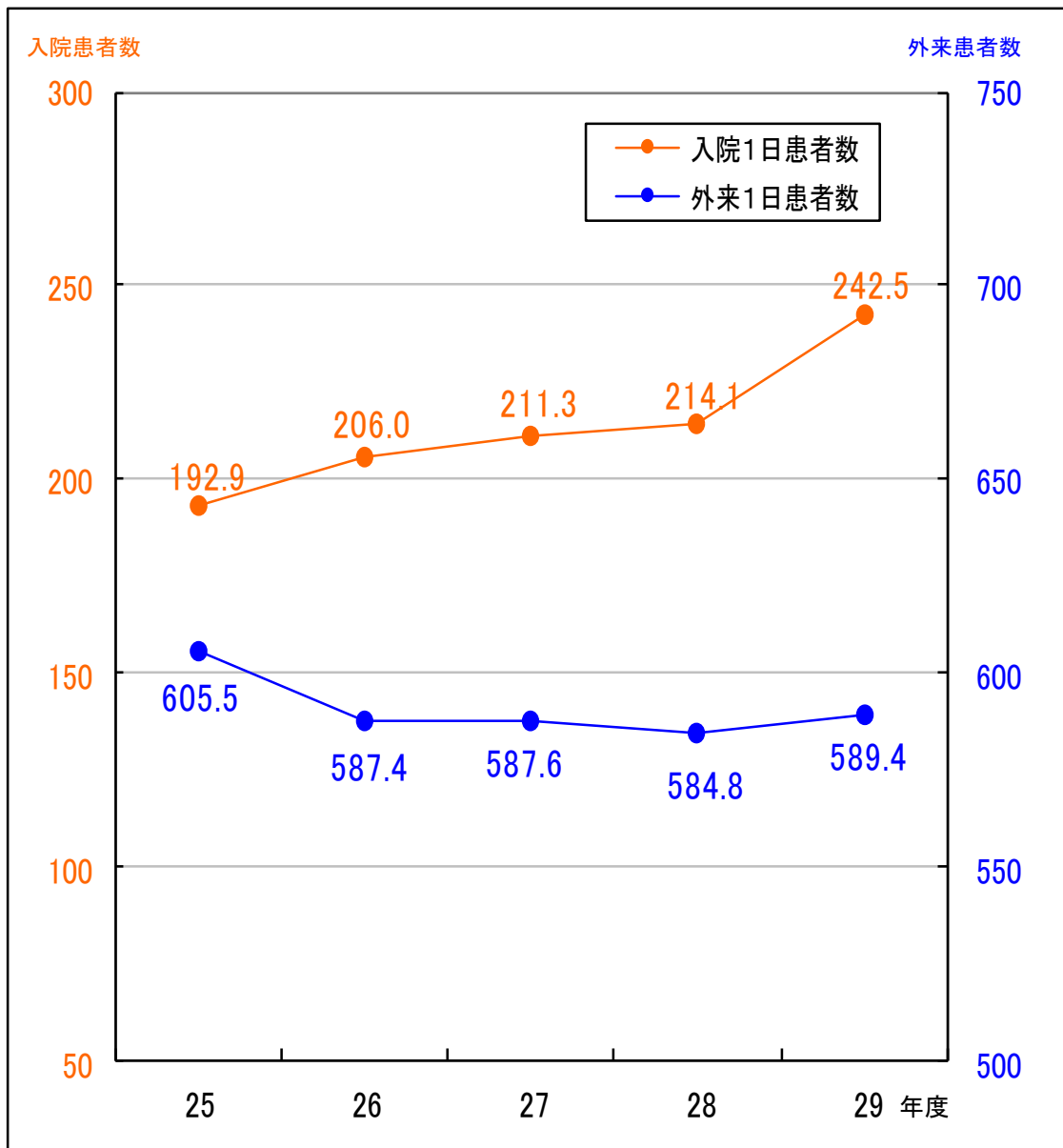
(2) 収益・費用・利益の推移 (指定管理者会計)



- ・ 指定管理者が、医師、看護師等を確保して医療体制の充実を進めているため、事業収益は年々増加しています。
- ・ 損益については、安定して黒字となる状態にはなく、現状は経営改善の道半ばにあります。

(3) 一日平均患者数の推移

(単位:人)

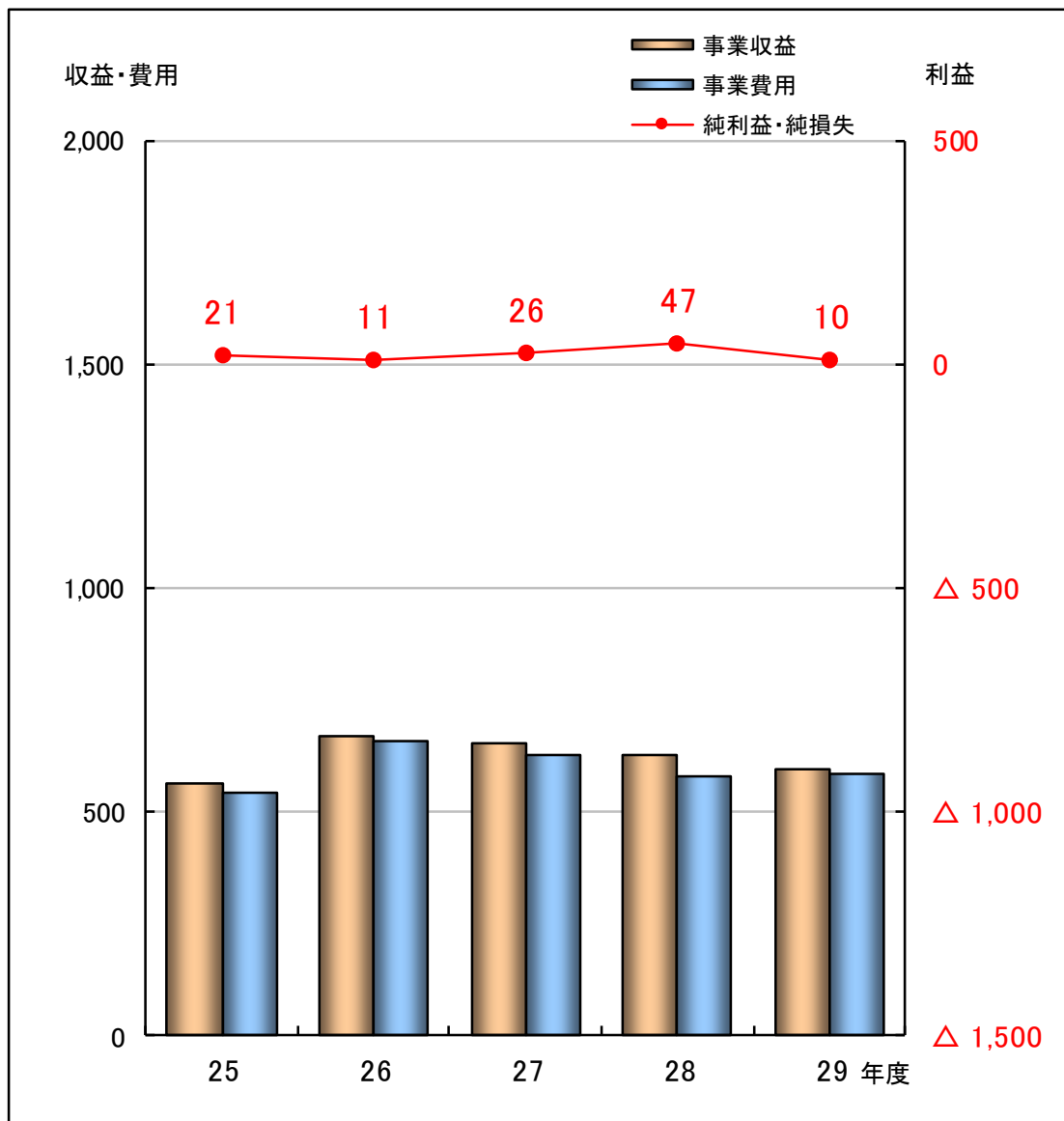


- ・ 市民病院の入院患者数は、医師、看護師等の確保を十分に行い、診療体制を充実させていることから、年々増加しています。
- ・ 平成29年度は、平成28年10月にオープンした地域包括ケア病棟が通年運用となったため、入院患者数は大きく増加しています。
- ・ 市民病院の外来患者数は、ほぼ横ばいで推移しています。

2 うわまち病院

(1) 収益・費用・利益の推移 (市会計)

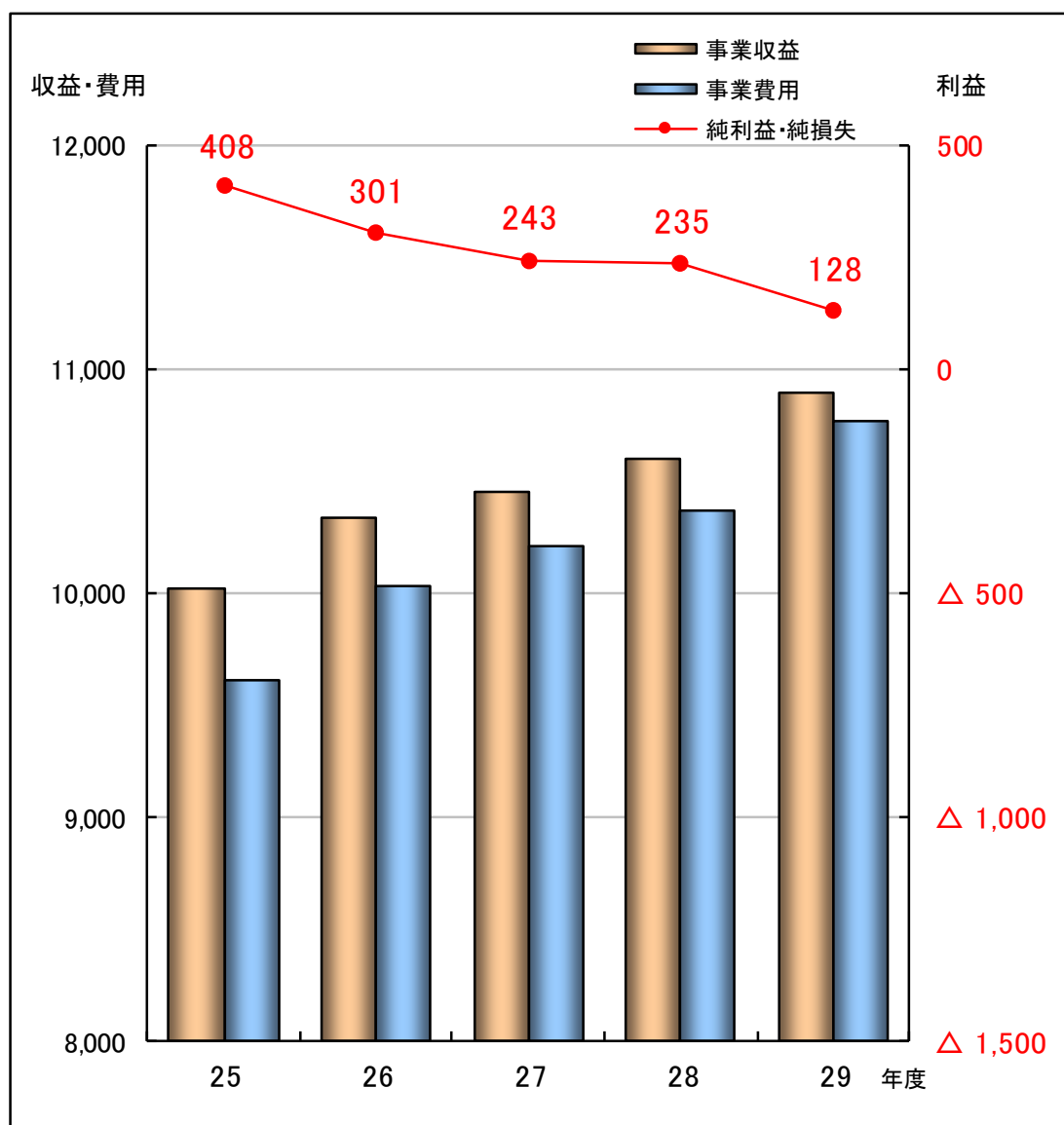
(単位: 百万円)



- ・ うわまち病院は、指定管理者との協定に基づき、市の会計が収支均衡となるよう指定管理者負担金を収入することになっているため、市の会計では基本的に赤字が生じません。
- ・ 指定管理者負担金は、予算で収支均衡となる額を収入しています。
- ・ 決算では、指定管理者負担金などの収入は概ね予算どおりになりますが、支出は不用額が生じるため、その分が黒字となります。
- ・ 過去5年間は、数千万円の黒字で推移しています。

(2) 収益・費用・利益の推移 (指定管理者会計)

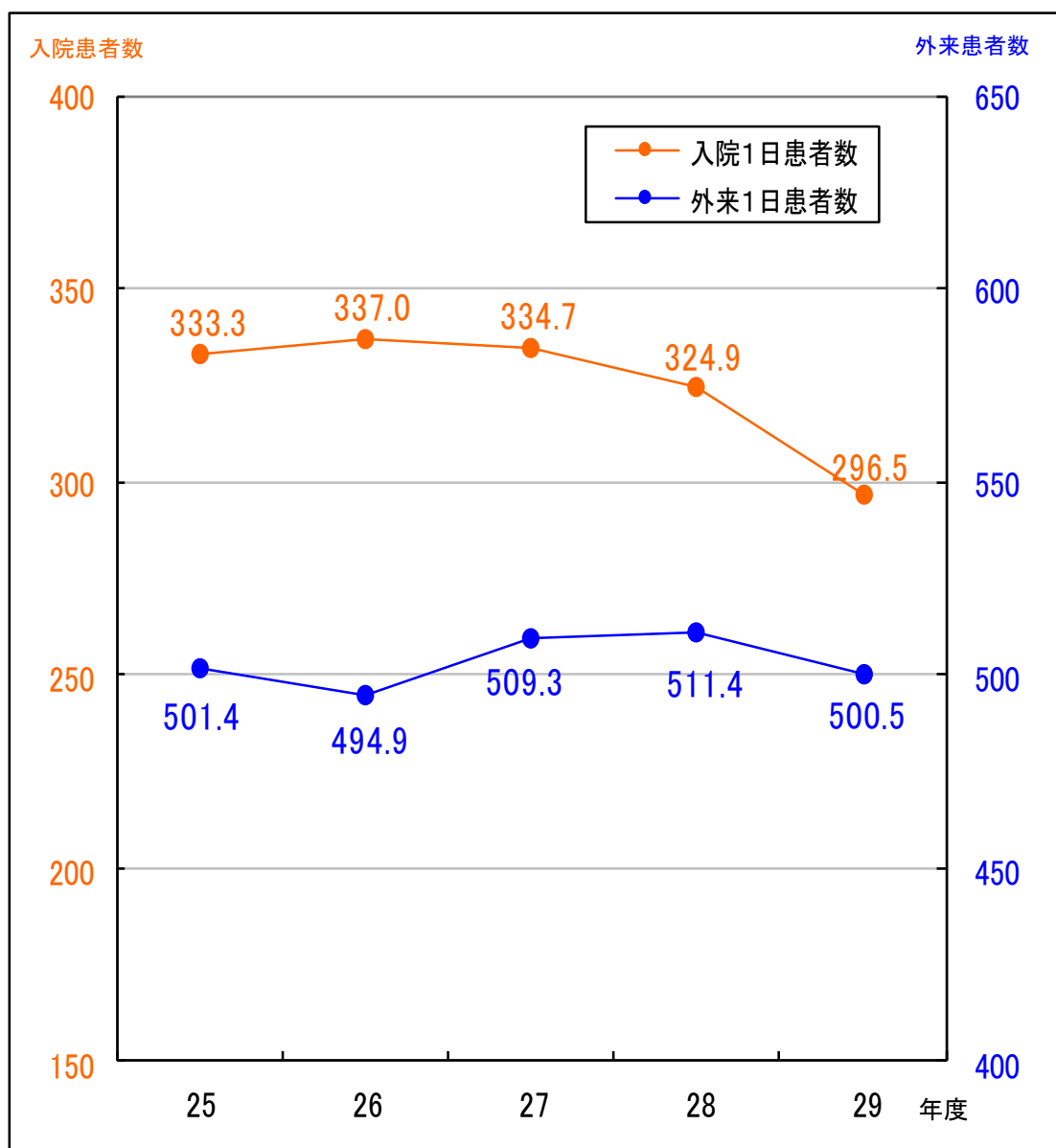
(単位:百万円)



- ・ うわまち病院は、市に対して、指定管理者負担金を支出してもなお一定の利益が計上しており、健全な運営が行われています。
- ・ 平成 29 年度は、V R E 院内感染対策のために行った入院制限の影響により、前年度と比べ 1 億円超の減益となりましたが、早期に院内感染の収束ができたことから、赤字転落を避けることができました。

(3) 一日平均患者数の推移

(単位:人)



- うわまち病院の入院患者数は、平成 28 年 12 月から VRE (バンコマイシン耐性腸球菌) の院内感染対策として、療養病棟の運用を休止しているため減少しています。
- 平成 29 年 6 月に VRE 院内感染が収束しましたが、再発防止策として療養病棟の運用を中止しているため、入院患者が 300 人弱となっています。
- 現在、療養病棟は、一部ベッドを回復期リハビリテーション用として運用を再開しています。
- うわまち病院の外来患者数は、ほぼ横ばいで推移しています。